



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月1日

上場会社名 アイエグループ 株式会社
 コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-821-7500

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 28,638 | 18.1 | 1,214 | 29.5 | 1,311 | 28.7 | 767 | △17.8 |
| 30年3月期第3四半期 | 24,257 | △6.7 | 937 | 33.5 | 1,019 | 13.4 | 933 | 95.0 |

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 758百万円 (△20.8%) 30年3月期第3四半期 957百万円 (101.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 508.73 | — |
| 30年3月期第3四半期 | 610.67 | — |

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 34,831 | 14,043 | 40.0 |
| 30年3月期 | 31,952 | 13,478 | 42.1 |

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 13,949百万円 30年3月期 13,448百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 12.00 | — | 60.00 | — |
| 31年3月期 | — | 60.00 | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | — | — | 60.00 | 120.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の期末配当金につきましては、平成29年10月1日付の株式併合(普通株式5株につき1株に併合)後の株式を対象としております。また、平成30年3月期の年間配当金合計は、単純合算できないため、「—」として記載しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 38,000 | 15.8 | 1,100 | 23.4 | 1,200 | 18.4 | 600 | — | 394.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 31年3月期3Q | 1,645,360 株 | 30年3月期 | 1,645,360 株 |
| 31年3月期3Q | 144,579 株 | 30年3月期 | 124,551 株 |
| 31年3月期3Q | 1,508,267 株 | 30年3月期3Q | 1,529,461 株 |

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明..... | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明..... | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明..... | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記..... | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記..... | 8 |
| (継続企業的前提に関する注記)..... | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)..... | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)..... | 8 |
| (追加情報)..... | 8 |
| (セグメント情報)..... | 9 |

1.当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

一方、個人消費につきましては雇用・所得環境に改善が見られるものの、依然として消費者の節約志向は根強く、また相次ぐ自然災害の影響や海外経済の不確実性の高まりもあり、その先行きは不透明な状況であります。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業が増収増益、ブライダル事業は減収減益となり、建設不動産事業は増収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は下記の通りとなります。

(カー用品事業)

商品販売において、ドライブレコーダーの需要に加えてチェーン等の冬季商品の需要が活発となり、ピットサービス部門と車両販売においても堅調に推移いたしました。また平成30年3月1日より営業を開始した宮城県と秋田県の15店舗も業績に寄与したことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(ブライダル事業)

高付加価値商品の開発提案に努めた結果、施行単価の向上が図られましたが、施行組数の減少を補いきれず前年同期と比べ減収減益となりました。

(建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上ならびに大型工事案件の引渡等をしたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(その他の事業)

コメダ珈琲4店舗が売上に寄与しましたが、不動産取得に伴う費用の計上等により、前年同期と比べ増収減益となりました。

(総括)

以上の結果、当連結会計年度の売上高は28,638百万円（前年同期比18.1%増）となり、営業利益につきましては1,214百万円（前年同期比29.5%増）、経常利益につきましては1,311百万円（前年同期比28.7%増）となりました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、767百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は34,831百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,878百万円増加しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、14,279百万円（前連結会計年度末比2,073百万円増）となりました。主な増加要因はたな卸資産の増加（1,057百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、20,551百万円（前連結会計年度末比805百万円増）となりました。主な増加要因は、土地の増加（846百万円増）によります。

c. 流動負債

流動負債残高は、13,482百万円（前連結会計年度末比2,741百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（3,104百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、7,305百万円（前連結会計年度末比427百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（395百万円減）によります。

e. 純資産

純資産残高は、14,043百万円（前連結会計年度末比564百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（585百万円増）であります。

自己資本比率は、40.0%となり前連結会計年度末比2.1ポイントの減少となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,674,806 | 1,769,757 |
| 売掛金 | 1,382,322 | 2,202,424 |
| たな卸資産 | 8,243,652 | 9,301,328 |
| その他 | 905,619 | 1,006,436 |
| 流動資産合計 | 12,206,400 | 14,279,946 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,327,789 | 7,343,551 |
| 土地 | 4,969,703 | 5,816,383 |
| リース資産(純額) | 146,502 | 96,999 |
| その他(純額) | 365,446 | 377,263 |
| 有形固定資産合計 | 12,809,441 | 13,634,198 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 92,637 | 28,480 |
| その他 | 137,449 | 116,628 |
| 無形固定資産合計 | 230,087 | 145,109 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 140,195 | 240,178 |
| 長期貸付金 | 22,870 | 21,940 |
| 長期前払費用 | 244,130 | 204,147 |
| 差入保証金 | 4,788,244 | 4,727,112 |
| 繰延税金資産 | 1,391,867 | 1,454,908 |
| その他 | 141,950 | 145,650 |
| 貸倒引当金 | △22,870 | △21,940 |
| 投資その他の資産合計 | 6,706,389 | 6,771,998 |
| 固定資産合計 | 19,745,917 | 20,551,306 |
| 資産合計 | 31,952,318 | 34,831,253 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,639,029 | 2,176,025 |
| 短期借入金 | 5,266,544 | 8,371,110 |
| リース債務 | 93,427 | 74,495 |
| 未払法人税等 | 557,287 | 270,732 |
| 未払消費税等 | 112,414 | 157,465 |
| 未成工事受入金 | 381,123 | 281,774 |
| 賞与引当金 | 397,902 | 198,129 |
| 役員賞与引当金 | 27,400 | - |
| ポイント引当金 | 148,907 | 54,403 |
| その他 | 2,117,013 | 1,898,619 |
| 流動負債合計 | 10,741,049 | 13,482,756 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,166,557 | 3,771,022 |
| リース債務 | 162,173 | 110,506 |
| 長期預り保証金 | 1,095,581 | 1,045,058 |
| 退職給付に係る負債 | 437,764 | 459,336 |
| 役員退職慰労引当金 | 350,000 | 387,500 |
| 資産除去債務 | 1,289,762 | 1,304,032 |
| 繰延税金負債 | 218,378 | 218,378 |
| その他 | 12,401 | 9,641 |
| 固定負債合計 | 7,732,620 | 7,305,475 |
| 負債合計 | 18,473,669 | 20,788,231 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,314,100 | 1,314,100 |
| 資本剰余金 | 1,824,791 | 1,824,791 |
| 利益剰余金 | 10,685,072 | 11,270,855 |
| 自己株式 | △418,884 | △495,328 |
| 株主資本合計 | 13,405,079 | 13,914,417 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 43,826 | 35,174 |
| 繰延ヘッジ損益 | △229 | - |
| その他の包括利益累計額合計 | 43,597 | 35,174 |
| 非支配株主持分 | 29,972 | 93,429 |
| 純資産合計 | 13,478,648 | 14,043,022 |
| 負債純資産合計 | 31,952,318 | 34,831,253 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 24,257,383 | 28,638,083 |
| 売上原価 | 13,352,154 | 15,964,619 |
| 売上総利益 | 10,905,228 | 12,673,463 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,967,916 | 11,459,292 |
| 営業利益 | 937,312 | 1,214,171 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 22,623 | 18,492 |
| 受取手数料 | 41,733 | 52,031 |
| 受取家賃 | 17,555 | 16,195 |
| その他 | 46,014 | 62,393 |
| 営業外収益合計 | 127,926 | 149,112 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,258 | 40,217 |
| その他 | 12,483 | 11,318 |
| 営業外費用合計 | 45,741 | 51,535 |
| 経常利益 | 1,019,497 | 1,311,747 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,646 | 276 |
| 投資有価証券売却益 | 415,750 | - |
| 特別利益合計 | 418,396 | 276 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,962 | 1,616 |
| 固定資産売却損 | 98 | - |
| その他 | - | 1,093 |
| 特別損失合計 | 3,060 | 2,710 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,434,833 | 1,309,314 |
| 法人税等 | 500,841 | 478,556 |
| 四半期純利益 | 933,991 | 830,757 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | 63,457 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 933,991 | 767,300 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 933,991 | 830,757 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 23,136 | △8,651 |
| 繰延ヘッジ損益 | 588 | 229 |
| その他の包括利益合計 | 23,724 | △8,422 |
| 四半期包括利益 | 957,716 | 822,335 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 957,716 | 758,877 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | 63,457 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注)3 |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | カー用品 事業 | ブライダル 事業 | 建設不動産 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,757,460 | 6,626,576 | 1,622,684 | 24,006,721 | 250,661 | 24,257,383 | — | 24,257,383 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,700 | 100 | 189,909 | 192,709 | 914,834 | 1,107,543 | △ 1,107,543 | — |
| 計 | 15,760,160 | 6,626,676 | 1,812,593 | 24,199,430 | 1,165,495 | 25,364,926 | △ 1,107,543 | 24,257,383 |
| セグメント利益又は損失(△) | 817,418 | △ 122,327 | 217,731 | 912,822 | 20,927 | 933,749 | 3,562 | 937,312 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注)3 |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | カー用品 事業 | ブライダル 事業 | 建設不動産 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,099,150 | 6,100,592 | 2,191,310 | 28,391,053 | 247,029 | 28,638,083 | — | 28,638,083 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,437 | 350 | 241,489 | 244,276 | 975,275 | 1,219,551 | △ 1,219,551 | — |
| 計 | 20,101,588 | 6,100,942 | 2,432,799 | 28,635,330 | 1,222,304 | 29,857,634 | △ 1,219,551 | 28,638,083 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,179,558 | △ 193,834 | 276,605 | 1,262,329 | △ 50,089 | 1,212,239 | 1,931 | 1,214,171 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。